

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 高齢者に対する支援と介護保険制度		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 大野 知美 / 木村 彰裕
回数 30回	時間数 (単位数) 60時間	配当学年・時期 1年 前期	必修 ・ 選択
【授業の目的・ねらい】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取りまく社会環境について理解する。 ・ 高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。 ・ 高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。 ・ 高齢期における生活課題を踏まて、社会福祉士としての適切な支援の在り方を理解する。 			
【授業全体の内容の概要】 <p>「高齢者と少子高齢社会」、「高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境」、「高齢者福祉の歴史と理念」、「介護保険制度」、「高齢者に対する関連諸制度」、「高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割」、「高齢者と家族等に対する支援の実際」について学ぶ。</p>			
【授業修了時の達成課題 (到達目標)】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者と少子高齢社会について説明できる。 2. 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境について説明できる。 3. 高齢者福祉の歴史と理念について説明できる。 4. 高齢者と家族等に対する支援の実際について説明できる。 5. 介護保険制度について説明できる。 6. 高齢者に対する関連諸制度について説明できる。 7. 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割について説明できる。 			
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】 <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (シラバス、国家試験の傾向) 2. 高齢者の定義と特性 3. 少子高齢社会の到来 4. 高齢者の生活実態 5. 高齢者を取り巻く社会環境 6. 高齢者観の変遷 7. 高齢者福祉の発展過程 8. 高齢者福祉の理念 9. 高齢者と家族等に対する支援の実際 (介護技術①) 10. 高齢者と家族等に対する支援の実際 (介護技術②) 11. 高齢者と家族等に対する支援の実際 (介護技術③) 12. 高齢者と家族等に対する支援の実際 (介護技術④) 13. 高齢者と家族等に対する支援の実際 (介護技術⑤) 14. 高齢者保健福祉の法体系 15. 老人福祉法 16. 介護保険制度の概要 17. 地域支援事業 18. 介護保険サービスの体系 19. 高齢者医療確保法 20. 高齢者虐待防止法 21. バリアフリー法 22. 高齢者住まい法 23. 高齢者雇用安定法 24. 育児・介護休業法 25. 町村独自の高齢者支援 26. 関係機関の役割 27. 関連する専門職等の役割 28. 高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割 29. サービス担当者会議 (演習) 30. サービス担当者会議 (演習) 前期末試験			
【使用テキスト・参考文献】 最新・社会福祉士養成講座 「高齢者福祉」中央法規出版 社会福祉小六法2021		【単位認定の方法及び基準】 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する 総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする	

